

2026年（令和8年）3月10日

藤沢市立高浜中学校

校長 池田 裕

2025（令和7）年度学校づくりアンケート調査の結果について（案）

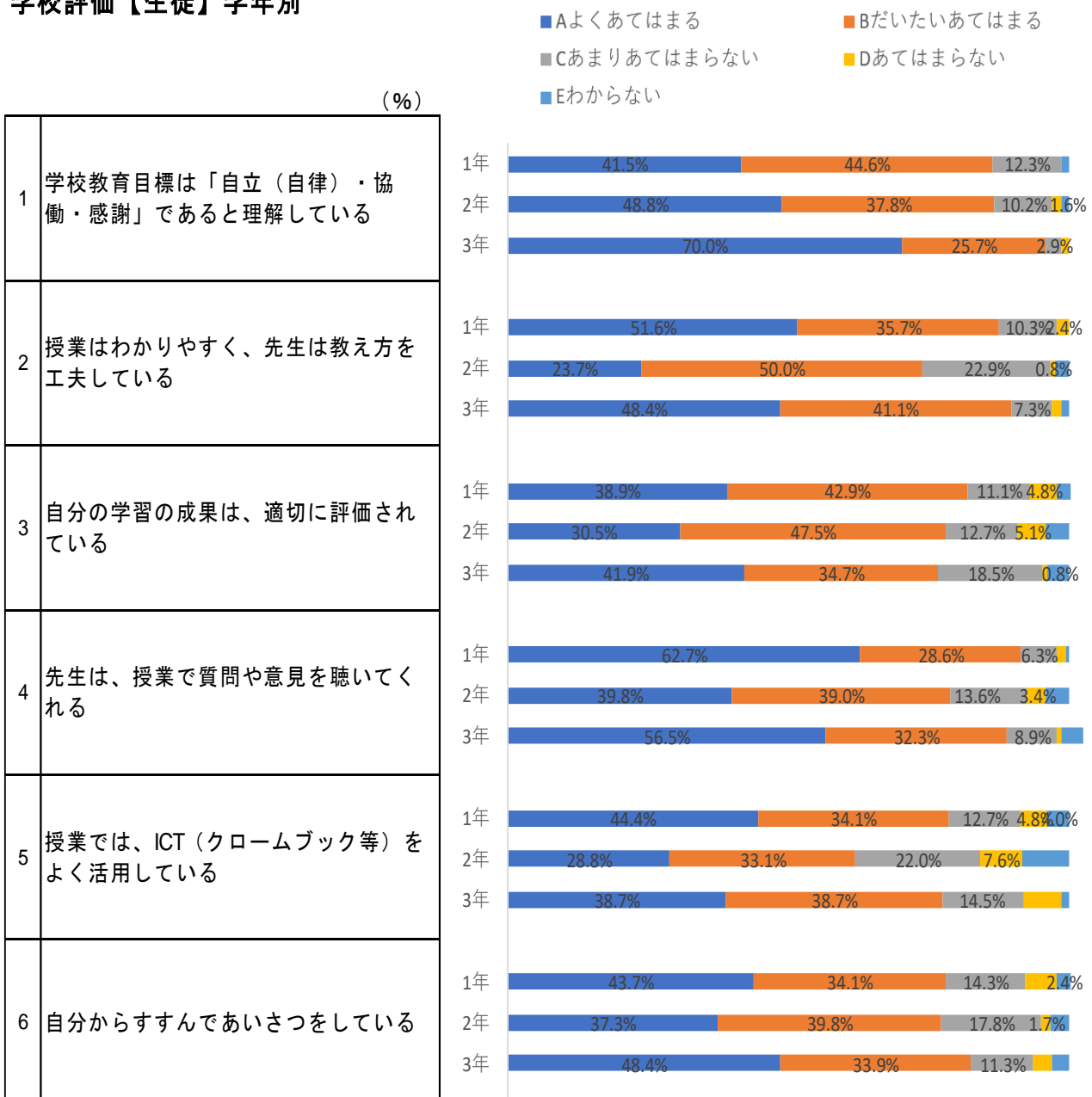
日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また、先日は学校づくりアンケート調査にご協力を賜り、ありがとうございました。この度、集計が整い学校関係者評価委員会において、集計結果の報告を行い、委員からの助言を受け、学校としての今後に向けた取組等をまとめましたのでご報告いたします。

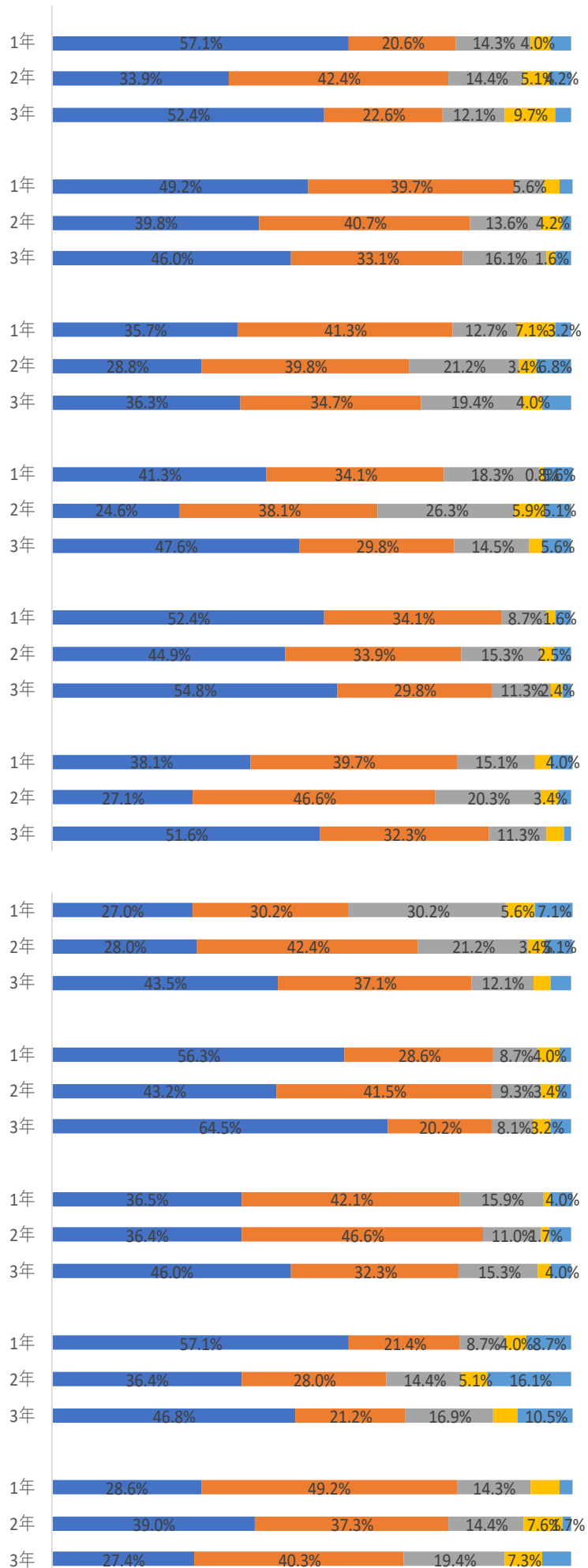
様々な視点からいただいたご意見をもとに、学校教育目標の実現に向けて、今後も家庭・地域と連携した学校運営の推進を図って参りたいと考えております。

1. 集計結果（単位 %）

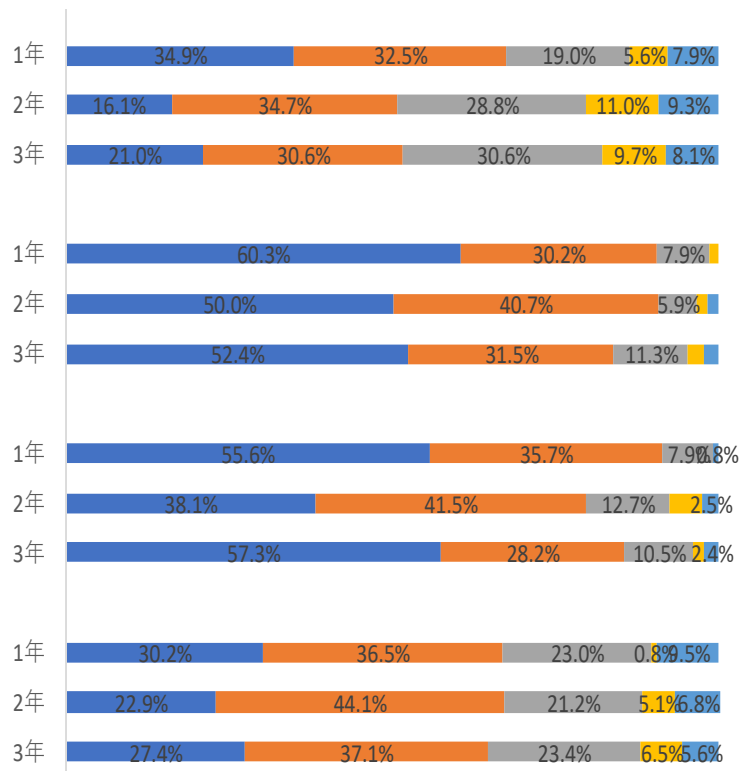
学校評価【生徒】学年別



7	学校生活は楽しい
8	学校では命の大切さや集団のルール、マナーについて学ぶことができる
9	学校は、いじめや暴力がなくなるよう取り組んでいる
10	先生は、悩みや相談をよく聞いてくれている
11	道徳の授業で学んだり、考えることが多い
12	学校は、将来の進路や生き方について考える機会をつくっている
13	学校は、卒業後の進路について情報を知らせている
14	学校・学年行事は楽しく、充実している
15	生徒会活動（委員会活動）が活発に行われている
16	部活動は楽しく、充実している
17	無言清掃をしっかりと行っている



18	学校の設備などが壊れた場合、すぐに修理される
19	地震、津波、火災を想定した訓練がしっかり行われている
20	学校の情報は「～だより」等でよく知らされている
21	学校は、家庭や地域の方々と協力して活動している



学校評価【保護者】集計

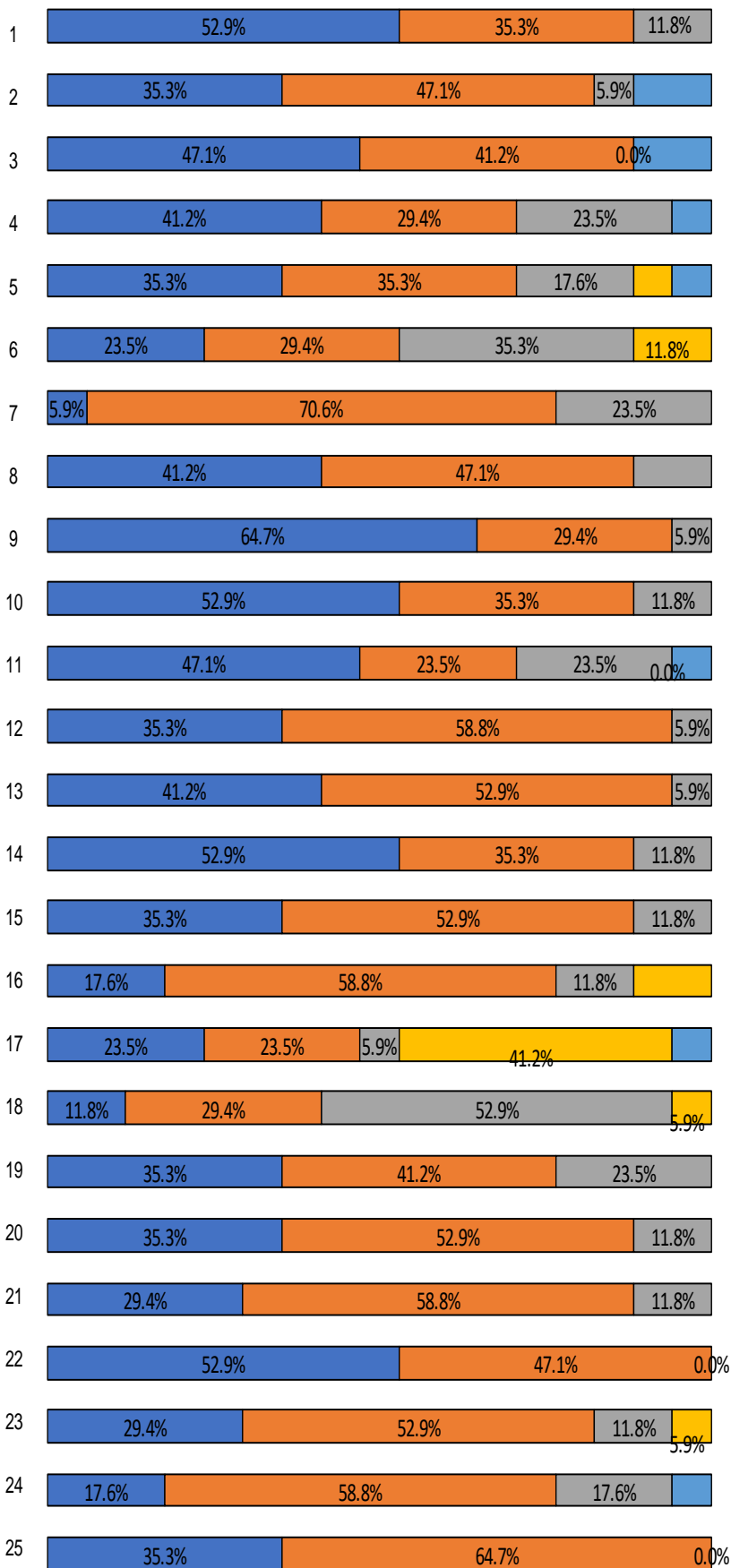
■ Aよくあてはまる
 ■ Bだいたいあてはまる
 ■ Cあまりあてはまらない
■ Dあてはまらない
 ■ Eわからない

NO	評価項目	A	B	C	D	E
1	学校は、学校教育目標や教育方針を伝えている	33.0%	44.0%	16.5%	0.9%	5.5%
2	授業は、子どもにとってわかりやすい	16.5%	44.0%	23.9%	6.4%	9.2%
3	子どもの学習の成果や成長は、適切に評価されている	19.3%	39.4%	24.8%	6.4%	10.1%
4	教員は、授業で子どもの質問や意見を聴いてくれている	22.9%	38.5%	20.2%	7.3%	11.0%
5	ICT（クロームブック等）を活用した授業は、子どもの学習理解に良い影響を与えていると感じる	20.2%	37.6%	22.9%	2.8%	16.5%
6	子どもたちは、よくあいさつをしている	23.9%	46.8%	19.3%	4.6%	5.5%
7	子どもは、学校生活を楽しんでいる	34.9%	45.0%	15.6%	0.9%	3.7%
8	学校は、命の大切さや集団のルール、マナーについて適切に指導している	22.9%	39.4%	14.7%	8.3%	14.7%
9	学校は、いじめや暴力がなくなるよう取り組んでいる	18.3%	38.5%	21.1%	5.5%	16.5%
10	教員は、生徒の悩みや相談に対し適切に対応している	24.8%	38.5%	22.0%	4.6%	10.1%
11	子どもに、より良く生きようとする姿勢（道徳的成長）が見られる	31.2%	41.3%	18.3%	1.8%	7.3%
12	学校は、子どもの将来の進路や職業などについて、適切に指導している	22.0%	40.4%	22.0%	4.6%	11.0%
13	学校は、卒業後の進路について情報を知らせている	30.3%	40.4%	21.1%	2.8%	7.5%
14	子どもは、学校・学年行事を楽しみにし、積極的に参加している	49.5%	35.8%	6.4%	3.7%	4.6%
15	学校では、生徒会活動（委員会活動）が活発に行われている	22.9%	50.5%	13.8%	0.0%	12.8%
16	子どもたちは、積極的に部活動に取り組んでいる	32.1%	37.6%	19.3%	1.8%	9.2%
17	学校では、清掃活動が適切に行われ、環境整備がなされている	26.6%	53.2%	10.1%	0.9%	9.2%
18	学校では、設備の安全管理が行われている	20.2%	42.2%	15.6%	1.8%	20.2%
19	学校は、防災について適切に取り組んでいる	26.6%	45.0%	16.5%	0.0%	11.9%
20	学校の情報は、「～だより」等でよく知らされている	40.4%	49.5%	6.4%	2.8%	1.9%
21	学校は、家庭や地域社会との連携を深めている	19.3%	50.5%	14.7%	5.5%	10.1%
22	学校は、可能な限り、地域に学校教育活動を公開している	22.9%	49.5%	17.4%	0.9%	9.2%

学校評価【職員】集計

NO	評価項目
1	学校は、学校教育目標を意識して教育活動に臨んでいる
2	教員は、楽しくわかる授業を目指し、工夫している
3	教員は、教科目標のもと、評価計画に沿って授業を行い、生徒一人ひとりの学力の向上に努めている
4	教員は、授業で生徒の意見や質問をよく聴いている
5	教員は、授業で効果的にICTを活用している
6	生徒は、よくあいさつをする
7	生徒は、楽しく学校に通っている
8	教員は、生徒に命の大切さや集団のルール、マナーについて教えている
9	学校は、いじめや暴力を許さないという姿勢で臨んでいる
10	学校は、生徒の悩みや問題に対し、丁寧に応じている
11	学校は、道徳の授業を計画的にすすめている
12	学校は、生徒が将来について考える機会を多く与えている
13	学校は、生徒が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう情報を提供している
14	生徒は、学校・学年行事に積極的に臨み、成長している
15	学校は、生徒会活動（委員会活動）が活発になるように指導をしている
16	学校は、部活動の充実を図るため適切な指導を行っている
17	学校は、無言清掃の指導を適切に行っている
18	学校は、学校施設・設備の点検、管理を適切に実施している
19	学校は、防災教育を適正に行い、対策が共有されている
20	教員は、学校の情報を家庭や地域に発信している
21	学校は、家庭や地域社会との連携を深めている
22	学校は、可能な限り、地域に学校教育活動を公開している
23	学校は、校内研究組織を確立し、効果的に研修を実施している
24	管理職は、学校教育目標の具現化に向けて適切に職員をサポートしている
25	教員は、自己の目標を持ち、能力の向上を図っている

■ Aよくあてはまる
 ■ Bだいたいあてはまる
 ■ Cあまりあてはまらない
■ Dあてはまらない
 ■ Eわからない



2. 主な自由記述 ○…評価できる点 ▲…改善すべき点

①授業・評価

【生徒】

○1つの単元に対して詳しく教えてくれること。

○生徒の意見を尊重してくれるところ

▲生徒たちの意見をしっかりと受け止めてほしい、耳を傾けてほしい、みんなが授業に対して質問しやすい環境を築いてほしい。

【保護者】

○夏休みの補講が塾に行っていない家庭にはとても助かりました。

▲長期休暇以外にも補講のような時間があったら助かります。ボランティアの方などでも放課後の学習の機会があると助かります。あと、内申点の付け方には色々な保護者が疑問を抱いています。テスト、提出物評価が上なのに下の女子より悪い男子。授業態度かと思えば面談でも問題なし。改善の余地がなく子供のヤル気が下がっています。先生に気に入られないと上がらない内申点と子供たちは言っています。将来そんな子供たちが育つのを希望しているのでしょうか？日々の頑張ってる姿をもう少し見てほしいです。部活も他校に比べ種類、内容(活動日)が欠けていると思います。改善を期待します。

【回答】

・授業の進め方について貴重なご意見ありがとうございます。生徒のみなさんにとって「わかる」「使える」「役に立つ」授業づくりを心がけて授業研究を行っています。今年度は11月に藤沢市教育委員会の指導主事の方々に指導をいただく機会がありました。一層の授業改善を図っていきます。

・補講については検討させていただきます。昼休みや放課後、先生たちはいつでも質問や相談は大歓迎です。気軽に職員室を訪れてください。

・評価の付け方について疑問を生じさせてしまい、申し訳ございません。生徒には授業の中で説明させていただきます。また保護者のみなさまに伝えるように検討させていただきます。

・部活動については昨年度もご意見をいただきました。指導する職員、施設が限られている状況であり、難しい状況です。ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

②行事

【生徒】

○行事などは自分たちで内容を作っていくから自立できるようになっている

○生徒同士が相手にリスペクトを持ちながらも学年という垣根を超えて仲良く交流することができている点

▲行事に取り組む時間が少ない

【保護者】

○「修学旅行は例年どおり」ではなく、テーマパークには行かず、スマホ持参を可とするなど、慣例ではなく時代にそった形にしてください良かった。

○行事に子供達が一生涯懸命取り組んでいる姿が素晴らしい。学校公開週間がとてもよい。

【回答】

・体育大会、合唱コンクール、文化祭など学校全体の行事では3年生のリーダーシップが発揮される行事になりました。修学旅行、横浜めぐり、ハケ岳体験教室など学年の行事ではルールや内容等も考えて実施されていました。行事を通して学年を越えた交流、成長していく姿が見られました。

・学校週間に限らず、学校を見学することは可能です。是非お越しください

③部活動

【生徒】

○学年によってムードがぜんぜん違うけど、部活動などでは共に協力し合っている。

【保護者】

▲藤沢市のガイドラインを完全に無視して活動している部活動があります。活動時間は常に大幅に超え、特に夏の暑さ指数による活動制限の無視や普段から監督者無しの活動があるなど、だれが責任をとれるのか心配しています

【回答】

ガイドラインの遵守を指導徹底して参ります。熱中症は命にかかわるため、大会等も WBGT 31 で中止、延期になっております。普段の部活動の中でグラウンド、体育館、テニスコートの3カ所において活動時間前、活動時間中に WBGT 計で計測を行ってまいりました。原則、顧問不在の中では活動できません。しかし、生徒の活動を確保するため他の部活の顧問に依頼をして活動をしている場合があります。

④学校生活

【生徒】

○挨拶運動、赤い葉の募金活動

○先生方みんな優しいところ・生徒をよく大切にしてください

○委員会活動に関して教師が中心となるわけではなく、生徒自らが中心となって取り組んでいることや、部活内における先輩後輩の関係性がとても友好的であること。

○自分たちで、次の日の時間割を確認するからスケジュール管理ができるようになる。

▲無言清掃を廃止し、ルールで縛るのではなく、自分たちで考え、行動するほうが良いと思った。

▲挨拶をもっとする学校にしていきたいです。

【保護者】

○先生たちがとても仲良く楽しそうなのが最高です!そこから子どもに伝わるものは大きい。イベント時にしか様子は見れないけれどこの学校で本当に良かったと毎回思います。

▲支援級在籍で、交流級の様子は全く聞かないですし、交流級の担任と話もしたことがないので、実態はよくわかりません。

▲先生の人数が足りてないように見えます。先生の負担が重く感じます。

【回答】

・生徒自ら「挨拶が大切」だということを理解し、全校に伝えていこうという気持ちがうれしいです。

・無言清掃については現在、議論がなされています。清掃のありかたについて考え、学校がよりきれいに、そして生活しやすい環境を整えていきたいと思っております。

・交流級での様子や交流級とのかわり、支援級の懇談会などを利用して、機会をつくっていききたいと思っております。

⑤地域連携・安全管理（施設含む）

【生徒】

○トイレが綺麗

▲体育館にエアコンを置く

▲エアコンの効きを良くしてほしい

【保護者】

▲体育館、プール設備が古くて危ない。更衣室が狭くて混雑していた。

【回答】

- ・学校施設課にはプールの整備について依頼をしております。引き続き修繕の依頼をしていきます。
- ・今年度の各教室のエアコンの効きが悪く、大変ご迷惑をおかけいたしました。エアコン業者にも見てもらいましたが、改善されませんでした。市内の複数の小中学校から冷風機をお借りして対応しました。
- ・体育館エアコンについては藤沢市内の小中学校では順次設置がなされています。藤沢市の公共建築課が設置に向けて視察に入りました。もうしばらくお待ちください。

⑥その他

【生徒】

▲生徒や保護者の不安をなくすために、情報を多く回してほしい。今、どんな状況なのかがわからないときがあるからです。

▲学校生活や部活動、生活面などについてのルールをはっきりさせたり、全体で統一させる。

【保護者】

○子どもの意見とは違うかも知れませんが、PCで課題提出できるところなどICTの活用、すぐーるの活用、ペーパーレスはとてもいいとおもいます。

▲改善すべき点というわけではありませんが、授業で子どもの質問や意見を聞いてくれるなどの項目については、教科による差も大きいので全体での評価は難しいです。教科ごとの評価の方がわかりやすいと思います。

【回答】

- ・生徒・保護者のみなさまに不安を与えてしまい申し訳ございません。すぐーる、クラスルーム、紙でのお知らせ、ご案内等を行っておりますが、すぐーる等のみだとスルーされてしまうことも指摘を受けております。お知らせの内容によっては紙との併用を検討して参ります。
- ・学校評価のアンケート項目については検討させていただきます。

3. 考察

生徒の肯定的な回答で特に反応が高かった項目は、「Q4 先生は、授業で質問や意見を聴いてくれる」…89.7%（前年度 86.4%）、「Q11 道徳の授業で学んだり、考えることが多い」…89.3%（前年度 83.4%）、「Q1 学校教育目標は「自立（自律）・協働・感謝」であると理解している」…88.9%（前年度 86.4%）でした。その他にも高い反応を示した「Q15 生徒会活動（委員会活動）が活発である」、「Q14 学校・学年行事が充実している」という結果は、学校教育目標のもと、生徒の意見を取り入れ、学校教育活動が行われている成果だと感じています。今後もさらに授業や行事を通して成長していけるように授業の工夫、生徒主体の行事を企画していきたいと考えます。

保護者の肯定的な回答で特に反応が高かった項目は、「Q20 学校の情報は、「～だより」等でよく知らされている」・・・89.9%（前年度 88.7%）、「Q14 子どもは、学校・学年行事を楽しみにし、積極的に参加している」・・・85.3%（前年度 88.8%）、「Q7 子どもは学校生活を楽しんでいる」・・・79.9%（前年度 84.7%）でした。「すぐー」での情報発信が浸透してきてはいるものの、情報が伝わりにくいところも指摘も受けております。よりスピーディーに正確にお伝えできるように努力して参ります。学校が生徒一人ひとりにとって楽しく、居心地のよい居場所であるように職員一同努力して参ります。

また、今年度の重点課題として掲げておりました学校運営協議会（コミュニティスクール）の推進では生徒「Q21 学校は、家庭や地域の方々とは協力して活動している」・・・73.7%（前年度 69.4%）、保護者「Q21 学校は、家庭や地域社会との連携を深めている」・・・69.7%（前年度 69.4%）とまだ十分とは言えません。高浜地区学校運営協議会では地域の児童生徒（高砂小、浜見小、高浜中）の学校外の居場所づくりのため「はまかぜルーム」を運営しております。異年齢とのかかわり、地域とのかかわりを通して児童生徒の成長を見守っていただけるように今後もさらに連携、整備して参ります。

4. 次年度の重点課題

○小学校、支援学校との連携強化

令和6年度より、高砂小・浜見小と本校において統合型の学校運営協議会として連携した取組を実施しておりますが、児童生徒同士の交流についてはなかなか進んでいない状況です。今後は、白浜養護学校児童生徒たちを含めて近隣校の子どもたちの直接的な交流を促進するため、学校行事等において積極的に連携を図り本校生徒の自己有用感を高めるような取組を行ってまいります。

○生徒「指導」から生徒「支援」へ

これまで行ってきた「生徒指導」という考え方を改めて、個々の状況に合わせた「生徒支援」に重点をおいて生徒一人ひとりに適切に対応していくようにします。そのため、まずは、全員が共通して理解をすることができるような「指導する方法」について全職員が研究や研鑽を積んでいきます。そして、指導する内容がなかなか伝わらないような場合には、さらに丁寧に伝える方法などを模索しながら「支援」を行っていくようにします。

今回の調査では、様々な貴重なご意見をいただきました。また、教員への労いの言葉も頂戴し、心より感謝申し上げます。教員一同、よりよい学校を目指し、頂いたご意見を真摯に受け止め、改善につなげて参ります。ご多用の中、本調査にご協力をいただき、ありがとうございました。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。